

椿だより

第12号 平成31年 春号

社会福祉法人 宗得会

<http://soutokukai.com>

横須賀市太田和2-3-21

T e l : 046-857-9598

F a x : 046-857-9894



笑顔に愛たくて



ごあいさつ

特別養護老人ホーム

横須賀椿園

施設長 浅葉 統太



日頃より、特別養護老人ホーム横須賀椿園の運営にはご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。さて、今年の四月末で『平成』は終わります。平成を振り返りますと、高齢者福祉にとって大きな変革の時代でした。超高齢化社会に対応するため、平成十二年四月に介護保険制度が始まり、特別養護老人ホームやデイサービスセンター等の介護保険サービス事業所が、数多く整備されました。また、認知症対応型グループホームや小規模多機能型居宅介護など、昭和の時代にはなかった新たなサービスもでき、ご利用者が選択する時代となりました。新しい元号を迎え、高齢者福祉も新しい時代に入ります。労働人口の減少や認知症の増加などに対応するため、国は地域包括ケアシステムの構築を掲げています。自助・互助・共助・公助のバランスが見直され、住民主体によるサービスの構築など、地域全体で支えることが求められます。当法人でも地域の一員として、地域を支える担い手となるよう職員一同努力をして参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「認知症ケアの今昔」 (2)

ホーム長 大澤憲夫

(前号から続く)

どこから手に入れたのか、4人の中の一番穏やかなNさんが一つのリンゴを大事そうに懐に入れていたのです。ところがそのリンゴを奪おうと、いつも不機嫌なOさんがNさんの懐に手を入れようとしたのです。

その瞬間、「バシ！」とNさんの手がOさんの頬を平手打ちしました。いつもはNさんが素直に相手の欲しいものを渡して一件着なのですが、その攻防はなかなか静まりませんでした。いつになくNさんが顔を紅潮されて激怒していたこともあり、私はいつもと違う彼女たちの雰囲気を感じて、二人の間に止めに入りました。その時、Oさんが奪おうとしたリンゴを、Nさんは私に差し出したのです。



一瞬、私は驚きましたが・・・争いのもとになったリンゴを私に預けることで、Nさんは難を逃れようとしたのかな？と思いましたが、でもそれは間違いでした。Nさんの発した言葉で、私の頭の中は真っ白になりました。

「わのリンゴふとつだばて世話っこさなってる、なさけるはんで、受け取ってけろ」(私の一つしかないリンゴだけれど、私の面倒を見てくれているあなたにあげたいので受け取ってください)

その言葉は、「認知症の人は何もわからない」という当時の既成概念を否定するものでした。

Nさんは、しっかり感じている、分かっているのだと、確信した瞬間でした。私はその時、彼女たちの代弁者になろうと決心したのです。

認知症当事者の思いが後回しにされていたあの時代から、数十年の年月を経て、今ようやく認知症の人の声に耳を傾ける社会になってきました。その思いを心に誓いながら、認知症ケアに従事している人たちに、私の経験と知識を伝え、認知症ケアをしっかり考えられる人に育てていきたいと思っています。

あれから35年、津軽のおばちゃんたちの心の声が私の心の支えとなり、今でもその思いは変わらず続いています。



グループホームつばき 早春編

「腕を大きく前にあげて～」



三浦海岸の河津桜を見に行きました

青い空にピンクのお花がキレイ



ホント、インスタ映えるわね

ユニットつばき



いつまでも
「元気で!!」
「若く!!」
「美しく!!」

グループホームつばきでは、日課としてラジオ体操を取り入れています。お天気のいい日は、太田和2丁目公園で行われている、近隣の方々のラジオ体操の会にも参加しています。



ユニットさざんか



ご長寿さん、いらっしやい

Part III

ご長寿のみなさんに質問をしました。

- ① 好きな食べ物
- ② 日課・趣味
- ③ ご長寿の秘訣



椿園デイサービス
関澤 米子さん
97歳



特 養
高橋 シゲさん
100歳



グループホームつばき
中村金子(きんこ)さん
95歳

- ① とんかつ、ウツキ-ワイドチキ、かんぴょう巻き。
- ② 草取り、園芸、ひ孫との散歩。
- ③ いつも明るく、くよくよしない。ひ孫と遊ぶこと。

- ① 好き嫌いはありません。椿園の食事は美味しいです。
- ② 読書。
- ③ 農家を営み、真面目で正直に生きてきました。

- ① 米。
- ② 宝石が好き。「私はダイヤよりヒスイがいいね」
- ③ よく寝ること。皆さんと仲良く過ごすこと。

西第一地域包括支援センター

地域型介護予防サポーター

養成講座開講!

介護予防を学び、
あなたの力を地域で活かしてみませんか?

〈とき〉5月20日(月)・5月27日(月)・6月3日(月)
10時～12時

〈ところ〉西コミュニティセンター集会室

〈定員〉先着40名 満員になり次第締め切り
(最終締め切り4月30日(火))

〈持ち物〉筆記用具・上履き・水分
うごきやすい服装にてご参加ください

〈問合せ・申込先〉西第一地域包括支援センター
電話:046-857-9939

〈担当〉横須賀市高齢福祉課
電話:046-822-8135

認知症が気になる方へ

初期集中支援チーム について?

- ・在宅生活を送っている
- ・40歳以上の方で
- ・医療にも介護にもつながっていない
- ・認知症の人など

をサポートするチームです。「地域包括支援センター」、「高齢福祉課」が窓口となりご自宅を訪問し、おおむね6か月の間、集中的・包括的に支援します。医療・介護につなぐことによって、在宅生活を続けられることを目指しています。

認知症の家族が一人で出かけて家に
帰れなくなったらどうしよう

そんな不安があったら

横須賀にこっとSOSネットワーク

に登録しましょう

★地域の関係機関の協力を得て、一刻も早く発見し、ご家族のもとへ帰すためのネットワークです。

おかげ様で、まもなく横須賀椿園の

屋上防水改修工事が完了します！

※3月中旬見込み

雨漏りの心配を解消します！



花壇撤去前の風景



天窓防水シールの取替え



防水施工中の屋上



花壇撤去後の様子

一方、地上では

屋上花壇の腐葉土を熟成中です！

椿園の庭桜を中心に、これまで捨てていた大量の落ち葉を使っています。

昨年6月に出来た1回目の腐葉土



米ぬかを混ぜ合わせてます



静かに完熟の時を待つ



新しい屋上花壇で使います



(イメージ)

行事予定

- 4月 お花見、家族会
- 5月 母の日
- すかなごっそ買物外出(デイ)
- 6月 父の日
- 介護教室(特養)
- 7月 七夕
- ボランティア親睦会



横須賀椿園の 防災への取り組み 命を守る事

横須賀椿園統括部長
石渡 広基

災害時においてまず必要な事は、命を守る事、そして生きていく事であると考えています。

生きていく事とは、最低限の衣食住が確保でき、被災から復旧までを「生きていく」という事です。その為には平常時から準備を万全とし、被災時には復旧までの間の生活を維持していけるように努めていく事が大切です。

生きていく事

横須賀椿園では、防災委員会を組織し運営しています。



主な活動内容としては、いざ災害が発生した場合を想定した、初動対応・避難対応・各職員の役割り分担・非常災害時の必要物資の整備等を行っています。



また、施設内に限らず大規模災害時には、地域で被災された方々の受け入れ等に関する整備も行っています。

編集後記



もう春ですね。新しい季節、何だかワクワクします。5月からは元号も変わりますし、何か良いことが起こりそう？な予感がします。

椿だよりは創刊から5年目に入りました。これからも面白さ、楽しさが伝わる誌面作りに励んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。
(椿姫M)